

学区	まちづくりプラン作成状況	主な施策の進捗状況
常盤	令和2年3月 作成・公表	<p>○生活サービス施設の誘導 【関係課：都市地域戦略課】 令和2年9月に民間事業者より下物町への出店の意向表明されたことを受け、市街化調整区域における地区計画決定にかかる手続きを進め、令和3年6月には都市計画決定、10月に建築物の制限に関する条例の制定を行った。令和4年度においては、生活拠点施設（パロー他）の開発着手とともに、近隣集落から生活拠点施設への安全なアクセスを確保するための道路整備を行う。</p> <p>○まちづくりセンターの利活用 【関係課：まちづくり協働課】 センター内の農業振興スペースを活用し、農産品の開発などについて有志のメンバーを集められ、「ときわおにぎりプロジェクト」を始動されるなど、コミュニティビジネスに向けた取組が展開されており、令和4年度においても引き続き、取組を推進される。</p> <p>○歴史を活かしたまちづくり 【関係課：歴史文化財課】 「観音寺阿弥陀堂・書院」の修復事業について、草津商工会議所や草津市観光物産協会等が中心となった実行委員会でクラウドファンディングを実施され、常盤学区においても独自で寄付を募られ、修繕資金の調達が行われた。令和4年度においては、重要文化財に指定された2棟に対する耐震調査にかかる補助金を交付する。</p> <p>○道の駅草津のリノベーション 【関係課：農林水産課】 道の駅草津のリノベーションに向けた方向性の具現化を目指し、地域へのヒアリングや道の駅の駐車場拡幅について県要望などを行いながら、令和3年度にリノベーション構想を策定した。令和4年度においては、構想をもとにリノベーションにかかる実施設計を行う。</p>
山田	令和2年3月 作成・公表	<p>○生活サービス施設の誘導、まちづくりセンターの建替え 【関係課：まちづくり協働課、都市地域戦略課】 センターの移転予定エリア(約3.8ha)にかかる市街化調整区域における地区計画を令和4年3月末に決定した。令和4年度においては、建築物の制限に関する条例を6月議会に提案した。また、新まちづくりセンターのコンセプトや機能等の構想について、地元組織の「明日の山田を創る会」において検討される。</p> <p>○山田学区の持続可能なまちづくりおよび生活拠点の付加機能等の検討 【関係課：まちづくり協働課、都市地域戦略課】 地元の若手リーダーで構成される「ヤマミラ」を中心に地域づくりに関するワークショップの開催とともに、新まちづくりセンターを含んだ地域拠点の構想や食をテーマに山田の特産品を活用した商品（山田のメロンを活用したクラフトビール）の開発等が行われた。令和4年度においては、将来のまちづくりの中心となり得る人材の発掘や人材間の連携を目指したワークショップやネットワーク会議が開催される。</p>
笠縫	令和3年3月 作成・公表	<p>○生活交通の基盤整備および利便性向上 【関係課：交通政策課】 バス交通不便地の解消に向けて、令和3年11月1日からコミュニティバス「まめバス草津駅下笠線」の実証運行を開始した。実証運行期間中の運行実績が目標利用者数を達成したことから、令和4年11月1日から本格運行に移行する。</p> <p>○地域資源の再発見・認識を通じ、地域の活性化やコミュニティの創出 まちづくり協議会が中心となり、地域再生についての継続的な検討を行いつつ、民間農地を借用し、農業体験を通じた人材育成が継続的に行われている。</p>
志津	令和3年3月 作成・公表	<p>○補完的公共交通の充実 【関係課：交通政策課】 バス交通不便地の解消に向けて、令和2年11月30日からデマンド型乗り合いタクシー「まめタク」の実証運行を開始した。全路線（5路線）において、本格運行への移行基準を達成したことから、令和4年11月30日から本格運行に移行する。また、実証運行期間中に地域から草津駅への接続を求める声が多くあったことから、令和4年11月30日から新たに草津駅接続路線（2路線）の実証運行を行う。</p> <p>○里山や豊かな自然の利活用 【関係課：環境政策課】 志津学区に残された里山や自然環境の利活用を推進するため、里山にちなんだ講座の開催や里山の散策などのフィールドワークが実施された。令和4年度においては、放置されている山林を借用し、地域の団体とともに整備を行うとともに、放置された畑を借りて、農業体験ができる環境づくりが行われる。</p>
笠縫東	令和4年3月 作成・公表	<p>○まちづくりセンターの建替え 【関係課：まちづくり協働課】 令和4年度においては、地域から整備計画と再考する内容のご提案を頂き、現在、調整を行っており、令和5年に改めて設計に取り組む。</p> <p>○河川・環境の利活用の検討 【関係課：都市地域戦略課】 令和4年度においては、葉山川沿いの自転車・歩行者道への健康器具等の配置について検討を行う。</p>
老上西	令和4年3月 作成・公表	<p>○中間水路・矢橋帰帆島の利活用 【関係課：都市地域戦略課、滋賀県】 令和4年度においては、中間水路および矢橋帰帆島の利活用について、立命館大や滋賀県を交えたワークショップを開催するとともに、例えば、中間水路でのカヌー教室や矢橋帰帆島公園でのキッチンカーを活用したイベントを企画し、世代間交流の実現や地域内での資金循環といった仕組みづくり等について、地域活性化センターの助成金を活用（市間接補助）し検討していく。</p>